

日・ネパール外交関係樹立60周年記念式典

岸外務副大臣挨拶

(9月1日(木) 10:30-12:30 於:カトマンズ)

ダハール首相,
マハト外務大臣,
カルキ情報通信大臣,
御列席の皆様,

ナマスカール(ネパール語で「おはようございます/こんにちは」)。

本年の日・ネパール外交関係樹立60周年に際し、心よりお慶び申し上げます。私は、7年前に防衛大臣政務官としてネパールを訪問しましたが、今日、ネパール政府主催の60周年記念式典への出席という形でネパールに再訪することができ、大変光栄に思います。

日本とネパールは、1956年の国交樹立以来、経済、文化、観光等あらゆる分野での交流を通じて、極めて良好な友好関係を築いてきました。

日本人にとってネパールは、壮麗なヒマラヤを望む美しい国として知られ、多くの日本人観光客がネパールを訪問しています。ネパールの雄大な自然や町並み、ネパールの人々の心温まるおもてなしは、多数の日本人を魅了してきました。また、本年8月には、日本に在住するネパール人が中心となり、「ネパールフェスティバル2016」が東京で開催され、来場者は20万人を超える大盛況でした。両国の友好関係は、こうした人と人の繋がりの歴史により生まれ、その絆は、年を重ねるごとに、より堅固になっています。

我が国は、ネパールが地域の安定と発展に果たしうる役割を重視しています。両国関係を更に幅広い関係に発展させる決意であり、そのための基盤となるインフラ開発を引き続き支援し、社会経済分野における協力を拡大します。我が国は、かかる方針に基づき、昨日、ネパール政府との間で「主要空港航空安全設備整備計画」(約14.5億円)と「学校セクター開発計画」(3億円)の無償資金協力に係る書簡の交換を実施しました。我が国は、ネパールの空路の安全性向上と質の高い教育の普及に貢献してまいります。更に、日本政府は、ネパール第1号となる「トンネル」建設に対し総額約166億円の円借款の供与を行う方針です。

また、ネパールと日本は共に地震災害の多い国として、助け合いの歴史があります。東日本大震災の際には、ネパールの方々から5千枚の毛布を頂くとともに、日本在住のネパールの方々により、被災地でカレーの炊きだしを行っていただきました。

我が国は、昨年のネパール大地震を受け、緊急・人道支援から復旧・復興まで切れ目のない支援を継続しています。我が国は、震災からのより良い復興を一日も早く実現できるよう、引き続きネパール政府と緊密に協力してまいります。

私自身、昨日、カトマンズのダルバール広場を視察し、人々の心の拠り所で貴重な観光資源でもある文化遺産の早期復興の重要性を再認識をしたところです。自然災害に備えた強靱な国づくりという、震災国である日本とネパール両国共通の目標に向けて、双方の経験を踏まえながら協力していきたいと思えます。

日本では、60歳を「還暦」として、人生の節目を祝います。これは満60歳で一つの人生を生ききり、次の人生を生きる門出をお祝いするものですが、今日は、日本とネパールの両国が、次の60年に向けて志を新たにできたことを嬉しく思います。本年両国で開催される周年行事を通じ、両国国民の友情と絆が一層強化されることを願いつつ、私の挨拶とさせていただきます。

有り難うございました。

(了)